

関東ふれあいの道を歩く（東京）①湖のみち

2019年12月30日 池内 淑皓

2019年10月関東ふれあいの道（神奈川）の全コースを歩き終え、11月から東京都の道を歩く事にした。11月2日（土）台風も過ぎ絶好のハイキング日和となった。最寄り駅は京王線の高尾山口で、高尾山塊周辺の山々を巡って、高尾山から高尾山口に戻る「①湖のみち」コースである。

高尾山はハイキングより行楽の人で一杯、年間260万人を超える観光客が訪れる、世界一人が訪れる山だ。



関東ふれあいの道一都六県概念図

（首都圏自然歩道連絡協議会）



関東ふれあいの道（東京）①～⑥概念図



(首都圏自然歩道連絡協議会)

高尾山口→梅の木平→三沢峠→大洞山→城山→高尾山→高尾山口駅概念図



今日の鉄道下車駅は京王線「高尾山口」



梅の木平まではバスであるが、早朝は便がないので歩く。圏央道の高尾山 IC を通り抜ける



東京①湖のみちコースの起点、石柱と道標が並ぶ、ふれあいの道は川沿いに歩く



この道は三沢峠まで「神奈川県⑭峰の薬師へのみち」と同じコースをたどる事となる



奥高尾の奥座敷、ここは未だ夜のとぼりが明けていないか？
”明けぬれば 暮るるものとは 知りながら なおうらめしき 朝ぼらけかな”



三沢峠までは峰の薬師への参詣道でもあるから、路傍の石仏達がお出迎え



奥高尾は風景林指定となっており、素敵な美林が杜を成す



「三沢峠」⑭峰の薬師への分岐点



東京①湖のみちコースはここで右折する（直進）。爽やかな風が津久井湖から吹いてくる



ここから高尾山へは探勝路となっており、幅広い防火帯の快適なトレイルだ



梅の木平へ 4.0 k m、高尾山へ 12.2 k mの里程標が埋まる



「西山峠」峠に差し掛かったら、この先通行止の表示が出た、がけ崩れの表示。



台風 19 号の影響でがけ崩れが発生した、急遽巻き道が出来たので無事通過する



緊張する場所が過ぎると見晴らし台に出る、津久井湖が良く見える



中沢峠に来ると、両方の行き先に通行止めの札が掛かっている、大垂水方面もがけ崩れらしい。



「大洞山」(536m) 雑木に覆われて見晴らしが悪い、ここで軽く昼食を採る



大洞山を下ると道の部分が崩れ落ちている。ここは一旦林道に下る道があるから、林道経由で大垂水峠に迂回することができる



私は崖を高巻きして、国道 20 号線（甲州街道）を専用の陸橋で越える



小仏城山へは緩やかな登りであり、快適な遊歩道ともなっている



高尾山周辺の山々は、沢山のハイカーが訪れるから、道も良く整備されている



「小仏城山」(670m) ここは東海自然歩道の交差点でもある、茶店ではビールが飲める



偶然知り合った韓国の女性グループと一緒に、お昼をご馳走になる



一休みして高尾山に向かう、人通りが激しいから、木道もしっかり出来ている



「高尾山」(599m)ここは山のとっぺんであるが、もはや山ではなく、観光地となっている



お店の中は一杯だから、外で生ビールをグビリだって、飲みたいが我慢、私は山屋だから。



薬王院まで降りて参拝して



厄除けのお札を頂いて



カラス天狗のお出迎えを受ける

薬王院は 744 年（天平 16 年）行基により開山、今は都心から約 1 時間の近さだ。



なるほど、年間 260 万人が訪れると言う高尾山、これは世界で一番の登山者数である。
ケーブルの前は人、人、人、20 分待ちとの表示が出ていた。私は歩いて高尾山口の駅まで行く。

[参考タイム] 高尾山井駅 (7:15) →梅の木平 (7:40) →三沢峠 (8:40-8:55) →西山峠 (9:20)
→大洞山 (10:40-11:05 昼) →大垂水峠 (11:35-11:40) →小仏城山 (12:45-13:20) →高尾山
(14:20-14:35) →高尾山口駅 (15:40)

34,000 歩 24.3 kmであった この項完

関東ふれあいの道 東京 (②鳥のみち) に続く